

別府のことをもっと知ろう！「別府学」

令和7年度

日湯けむり 歴史講座

| 期間 | 令和7年9月～11月(全3回)

9月11日(木)

「先哲・重光葵と別府」
しげ みつ まる

講 師: 松原 勝也氏 (大分県立先哲史料館 主幹研究員)

10月11日(土)

「近代ツーリズムと温泉」

講 師: 関戸 明子氏 (群馬大学共同教育学部 教授)

11月7日(金)

「温泉に残る伝説と、その祈りから見る別府」

講 師: 福西 大輔氏 (別府大学文学部 史学・文化財学科 准教授)

| 会場 | 別府市公会堂 大ホール

| 時間 | 14時～15時30分

| 主催 | 別府市 教育委員会 社会教育課

〒874-8511 別府市上野口町1番15号

電話 / 0977-21-1587

E-mail / lle-be@city.beppu.lg.jp



参加
無料

申込
不要



お願い

駐車場に限りがあるため、
公共交通機関の利用にご協力ください。

令和7年度

講座スケジュール

9/11[木]

第1回

先哲・重光葵と別府

| 講師 |



松原 勝也 氏
大分県立先哲史料館
主幹研究員

戦後80年という節目の年である今年、杵築市出身で戦前から外交官として活躍した重光葵をテーマとする。重光葵は戦争へと突き進む昭和前期の日本において、終始平和を希求した人物である。また、1945年9月2日に米戦艦ミズーリ号の甲板上で太平洋戦争の降伏文書に調印した。激動の時代に足跡を残した重光の思想に触れるとともに別府との関わりについても学ぶ。



重光葵肖像

10/11[土]

第2回

近代ツーリズムと温泉

| 講師 |



関戸 明子 氏
群馬大学共同教育学部
教授

日本各地の温泉地は、湯治などの目的で古くから日本人に親しまれてきた。近代になると観光旅行は、航路の整備や鉄道の敷設などに伴い急速に発展を遂げ、中でも温泉観光は幅広い人々に支持された。温泉ツーリズムが全国的な広がりを見せる過程と各地の温泉地の動向について、別府温泉の特色を踏まえつつ考えていく。



別府市を中心とする東九州の交通



瀬戸内海航路絵図

11/7[金]

第3回

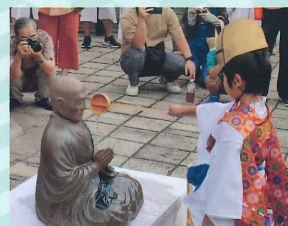
温泉に残る伝説と、その祈りから見る別府

| 講師 |



福西 大輔 氏
別府大学文学部
史学・文化財学科
准教授

一遍上人が開いた鉄輪温泉、親王時代の後冷泉天皇が病を癒したという柴石温泉、弘法大師が開いた永石温泉など、別府の温泉には様々な伝説が語り継がれている。また、別府の温泉場の多くに、地藏菩薩、薬師如来など、多様な神仏が祀られている。こうした伝説や信仰という側面から別府の温泉を考える。



一遍上人 湯あみ法要(撮影:福西大輔氏)

主催：別府市 教育委員会 社会教育課

〒874-8511 別府市上野口町1番15号 電話/0977-21-1587 E-mail/1le-be@city.beppu.lg.jp